

議 事 録 【浜松市長への提言書手交】

－令和6年度第3回浜松市森林・未来構想会議－

日時：令和6年9月11日（水）午前9時15分～9時45分

場所：浜松市役所市長室

内容：

1 提言書手交、写真撮影

2 提言書の内容説明、意見交換

（1）委員の主な発言

F氏）本市が有する森林を活かし、「森林文化」の価値を高めるため、林業振興に留まらず市民や他産業との繋がりを活かすことが不可欠。全国で徴収が始まった森林環境税の有効活用に向けて「回転推進事業」と「展開推進事業」の両事業を軸に、各種施策を推進することを提言する。

A氏）【提言1（2）担い手確保・人材育成・消費者教育について】

素材生産者目線では、人材育成への注力が重要だと考える。併せて、消費者理解の向上が必要。これから家を建てる人やカーボンニュートラルを目指す企業等に山に入ってもらい、山の人の言葉で山・木を語り、ファンになってもらうことで、市民の方に森林や林業に関心を持ってもらい、「木材を使ってもらおう」まで繋がる社会を目指したい。

B氏）【あいさつ文関係】

市民や企業に対する環境教育の強化等を通じて、木材消費者を育成する普及啓発も肝要。譲与税に際しては、納材者である市民に分かりやすいように活用すべき。説明責任が問われており、環境分野だけでなく、山・教育・建築の三位一体で譲与税の使い道を考える必要があると史料。

C氏）【提言1（1）林業の活性化につながる産業交流について】

浜松市は素材生産から加工、建築施工までできる事業者が揃っている。林業以外にも複数の有力産業が共存する地域の特性を活かすべき。住宅・非住宅への木材利用助成事業があるが、市外・県外での使用時への助成に対するニーズも高いため、是非応援してほしい。また、他産業との連携を強化することができないか。過去に第三都田で企業誘致がされたが、これらの企業にも積極的に木材を使ってもらおう仕組みができると出口が広がる。

G氏）【提言1（1）林業の活性化につながる産業交流について】

製材業者の妻・母の視点での提言。1本の木から木製材品ができるまでには、多分野の多数の方が携わっており、この人材が存在する浜松市はすごいと思う。林業が環境に貢献する尊さを多くの市民や企業に認知してもらいたい。母の立場としては、幼少期から地域材に触れる機会があることで、木材の心地よさが子供に刷り込まれる。住宅や教育施設等における木造化・木質化は、林材業界の活性化だけでなく、未来を担う次世代のこども達にポジティブな影響を与える。

H氏）【提言2（1）森の拠点からの展開（2）街の拠点からの展開について】

住宅の設計を手掛ける過程で、施主を天竜美林に案内することがある。天竜美林を訪れた施主からは感動の声が多く挙がる。施主は、地元到天竜美林という価値ある財産が存在していることを知らず、住宅に使われる木材がどのように生産されているか工程を知らない方も多いのが現状。

D氏)【提言2(1) 森の拠点からの展開(2) 街の拠点からの展開について】

地元小学校に林業分野の出前講座を行うこともあるが、児童からは天竜美林を訪れたいという声が多々挙がる。一方、天竜美林を訪れるにしても、駐車場やお手洗い、バスが通れないなど、インフラ上の障壁がある。市民が気軽に訪れることが可能な天竜美林のフィールド整備。是非、全国で一番の森に入れる地域にしてほしい。

E氏)【提言2(1) 森の拠点からの展開(2) 街の拠点からの展開について】私自身、森と都市を繋ぐ活動を行っている。市内自動車部品製造事業者が天竜美林を知る林業家と森を歩くことで、林業活性化に向けた新たな取組が創出された事例がある。山側のハード整備を行うことは必須だが、街側における森林文化を醸成するための拠点(例:ミュージアム、観光案内所、居酒屋)があると、更に市民への波及効果が大きくなる。

F氏) 浜松には森林が豊富にあるだけに留まらず、これを使う人たちが存在する。森林資源が循環する「浜松だからこそできる仕組みづくり」を是非推進願う。

(2) 市長からの主な発言

- ・私自身、総務省に務めていた頃に森林環境税・森林環境譲与税の創設に携わった経験があり、本税の趣旨は十分に理解している。
- ・高知県に務めていた頃には、本税に先駆けて「水源税」を設け、森林整備等をするためのきっかけとなるような財源を確保した経験もある。これを含めれば森林環境譲与税に20年程携わっていることになる。
- ・現在は、数十年前に比較し林業分野に勢いがなく活力が低下している。森林環境税徴収が始まり、本市林業の振興を志す者の「思い」を実現するための機運が高まっている。
- ・提言内容の事業を実施するためには、現在本市に譲与されている財源4億円だけでは不十分。引き続き、みなさまからの知見を受け止めながら各施策の検討を進める。

＜当日の様子＞

